

## 規模要件の撤廃を行った場合の届出数（推計）

規模要件の撤廃を行った場合の届出数については、現在作業部会において、国土交通省の建築着工統計資料によりデータの集計を行い推計を実施しているところであるが、このデータについては現在精査中であり、今回数値を示すことができないため、参考として平成7年度に環境省が推計を行った延べ床面積と届出件数の関係について示す。

これによると、延べ床面積500㎡以上では、全体の吹付け面積の92.39%をカバーするが、届出件数では82.34%となり、面積要件を撤廃した場合には現行より約18%程度届出数の増加が見込まれる。

表 延べ床面積と吹付け面積、届出件数の関係

延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	吹付け面積 (m <sup>2</sup> )	(累積)	吹付け面積の比率 (%)	(累積)	届出件数 (件)	(累積)	届出数の比率 (%)	(累積)
10,000 -	126,684	126,684	36.51	36.51	166	166	30.86	30.86
5,000 - 10,000	51,629	178,313	14.88	51.39	66	232	12.27	43.12
3,000 - 5,000	49,499	227,812	14.27	65.66	65	297	12.08	55.20
2,000 - 3,000	41,665	269,477	12.01	77.67	51	348	9.48	64.68
1,000-2,000	30,475	299,952	8.78	86.45	49	397	9.11	73.79
500-1,000	20,603	320,555	5.94	92.39	46	443	8.55	82.34
300-500	10,608	331,163	3.06	95.45	29	472	5.39	87.73
200-300	7,436	338,599	2.14	97.59	20	492	3.72	91.45
100 - 200	4,456	343,055	1.28	98.88	20	512	3.72	95.17
50 - 100	1,810	344,865	0.52	99.40	16	528	2.97	98.14
0 - 50	2,082	346,947	0.60	100.00	10	538	1.86	100.00
合計	346,947		100.00		538		100.00	

出展：「建築物解体に伴うアスベスト飛散防止対策に係る調査」報告書 平成8年度 環境省